

安全衛生管理計画作成の手引き

1. はじめに

事業者は、安全衛生水準の向上を図るため安全衛生目標を設定し、それを達成するために、実施事項、危険予知活動等の日常的な安全衛生活動に係る事項等を内容とする安全衛生計画を作成する必要があります。**計画書の形式(書式)は企業独自のものを作成することが望ましいと考えられますが、一応参考例として本書式を示したものです。**

2. 記載要領

(1) 1. について

「事後措置実施者数」とは、異常所見があった者の健康保持のため就業上の配慮事項等について、医師から意見を聴取することが義務付けられており、その実施した人数を記入します。

(2) 2. について

ア.「安全衛生に関する基本方針」には、経営者の労働災害防止についての理念や基本姿勢等、訓示的な言葉を記入します。

また、全社的なスローガンを定める場合はそれも記入します。

イ.「安全衛生目標」は、数値目標も含め、可能な限り客観性をもった安全衛生目標を設定し、例えば、死亡、重篤災害はゼロ、休業災害の50%減少、健康診断結果有所見者の健康相談実施率100%などと記入します。

(3) 3. について

(1) から (7) の事項について参考例を示しますと、次のようなものがあります。

(1) 関係

安全衛生管理体制を確立する。作業巡視制度を設ける。

ツールボックスミーティング(又は、職場安全衛生会議)を行う。

衛生委員会の活動を活発にするための方策を定める。

(2) 関係

〇〇機械の購入時等における安全装置の確認。各種機械の日常点検を実施する。

通路の幅を広くする。事務所内の騒音の低減策を行う。

(3) 関係

4S運動(整理・整頓・清掃・清潔)KY活動(危険予知)を行う。ヒヤリマップ作成。危険認識や作業上の注意喚起を分かりやすく知らせ安全表示等を実施する。

(4) 関係

〇〇作業の安全作業標準を作成する。

転倒、墜落・転落災害、刃物等による切れ・こすれ、高温・低温の物との接触等の災害防止。

(5) 関係

健康診断の実施計画を記入する。

(6) 関係

新規雇い入れ者の安全衛生教育(実施訓練)を行う。

〇〇作業従事者の特別教育を行う。

安全・衛生講習会を開催する(又は、外部の講習会に出席させる。)

(7) 関係

腰痛対策、朝礼でラジオ体操を行い、安全衛生についてのワンポイントを話す。

通勤等の交通安全について講習会やPRを行う。交通ヒヤリマップの作成。

過重労働による健康障害防止のため時間外労働の削減を行う。

安全提案制度を採用する。

安全、衛生週間に行事を行う(具体的実施事項を定める)。

健康の保持増進に効果的な、労働時間の短縮、年次有給休暇の計画取得等の対策を定める。

健康診断結果に基づき、産業医による健康相談を実施する。

メンタルヘルス対策のため研修会を開催する。

ストレスチェックを実施する。

(4) 4. について

会社として講じている転倒災害防止対策に該当するものをチェックしてください。

令和 8 年度 安全衛生管理計画書（参考様式）

事業場名	(株)○○ スーパー○○帯広店	電 話	(0155)ー - × ×	管理番号	210
所在地	帯広市西○条南 丁目	労働者数	男 30 女 20 計 50		
事業の種類	一般小売店	担当者名	総務課長 (衛生管理者) 帯広 一郎		

管理番号は通知文書右下に記載のある < > 内の番号です。

1. 健康診断の実施状況（令和 7 年）

一般定期健康診断	受診者数	55 名	有所見者数	26 名	有所見率	47.3 %
深夜業に従事する者の人数	17 名	健診受診者数	17 名	有所見者数	8 名	

2. 安全衛生目標等

(1) 安全衛生に関する基本方針（スローガン）
トップが率先 みんなが実行 災害 0 !
(2) 安全衛生目標
転倒災害を前年比 50 %削減 ヒヤリハット報告の徹底

3. 項目別実施計画

	実 施 事 項	実施時期	担当
(1) 安全衛生管理体制の整備・強化に関する事項	衛生管理者を 2 名体制する。 職場パトロールを実施する。	○月 ×月	係 □□係
(2) 設備の改善等に関する事項	転倒災害が起こった場所の床を滑りにくいものに変える。	月	○○係
(3) 4 S 活動、K Y 活動 危険箇所安全表示	危険予知活動を取り入れる。 清掃担当チームを決め、清掃点検を月 1 回行う。	○月 ×月	係 □□係

	実 施 事 項	実施時期	担当
(4) 作業方法の改善に関する事項、転倒、転落切れ・こすれ、火傷	脚立を使った作業の手順書を作成する。	□月	係

	実 施 事 項	実施時期	担当
(5) 健康診断等に関する事項	健康診断受診率を向上させる。	□月	○○係

	実 施 事 項	実施時期	担当
(6) 安全衛生教育の実施に関する事項	学生アルバイトへの教育マニュアルを作成する。	○月	××係

	実 施 事 項	実施時期	担当
(7) 腰痛対策 過重労働対策 健康確保対策 メンタルヘルス対策 等に関する事項 (ストレスチェック含む)	腰痛防止運動を始業前に行う(月4回) ストレスチェックを実施する。	□月 月	○○係 ××係

4．転倒労働災害防止対策

(1) ハード面の対策	(2) ソフト面の対策
☒ 作業場・通路の整理整頓の徹底	☒ 転倒やケガをしにくい体づくりを行うための運動プログラム等を導入する
☒ 通路等の凹凸、陥没穴を確認し、解消を図る	☐ 適切な通路の設定、敷地内駐車場の車止めの「見える化」
☒ 滑りやすい箇所を確認し、防滑処理等の対策を行う	☐ 設備、什器等の角の「見える化」
☐ 水、洗剤、油等がこぼれることのない状態を維持する	☒ 転倒を予防するための教育を十分に行い、転倒災害を防止に対する意識づけをする
☒ 滑りにくい履き物の使用、防滑床材、防滑グレーチング等の導入	☒ 工場や事務所内の危険個所をマッピングして、危険情報を共有する
☒ 作業に適した靴を選んで着用し、靴底の摩耗なども定期的に点検する	☒ 転倒の危険のある場所には、標識(ステッカーなど)を設けて注意を喚起する
	☒ 作業前の準備運動・転倒予防体操で筋肉をほぐし、関節の可動域を広げることや普段の歩き方の見直しをする